

成果指標				
成果指標	水防訓練参加率<消防団、自主防災会、市職員>			
指標設定の考え方	水防に関する意識高揚と水防活動に必要な技術の習得の度合いを測定する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	100	100	100	100
実績	103.1	105.8	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	水防活動の充実強化を図るため、活動の主体となる消防団員・自主防災会員・市職員を対象とした訓練を継続して実施する必要がある。また、水防従事者の安全を確保するため、装備品等の充実に努める。さらに、消防団員等水防活動従事者を対象とした講習会などに積極的に参加し、高度なスキルを持つ水防エキスパートの養成を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	重信川流域合同水防工法訓練は、今年度、そのあり方が検討され、消防団員を対象に隔年で実施することに変更された。今後の市水防訓練では、このことも勘案して参加対象や内容を再検討する必要がある。消防団員の水防技術の向上に向けて、重信川石手川水防連絡会で予定する消防団員を対象とする講習会への参加を促進するよう努める。水防資機材については、これまでも充実に努めてきたが、品目を精査するとともに水防業務従事者の安全確保に向けた資機材の充実に留意する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題